

第4回総務経済常任委員会・厚生文教常任委員会 合同委員会会議記録

| | | | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------|-------------|--------|-------|-------|
| 開 閉 会 日 時 | 令和6年11月26日(火曜) | | 午後 1時50分 開会 | | | |
| | 休憩 14:06-14:08, 14:17-14:18 | | | | | |
| | | | 午後 2時22分 閉会 | | | |
| | 休憩時間：0時間03分 | | 会議時間：0時間29分 | | | |
| 会議場所 | 役場3階 本会議場 | | | | | |
| 出席委員 氏 名 | 委員長 | 中村 和宏 | 委員 | 小笠原 等 | | |
| | 副委員長 | 中田智恵子 | 委員 | 伊藤 稔 | | |
| | 委員 | 鈴木 健充 | 委員 | 西尾 一則 | | |
| | 委員 | 早苗 豊 | 委員 | 渡辺洋一郎 | | |
| | 委員 | 立川 美穂 | 委員 | 橋本 和仁 | | |
| | 委員 | 堀切 忠 | 委員 | 菊池 秀明 | 議長 | 梶澤 幸治 |
| 説 明 員 | 政策推進課長 | 有澤 勝昭 | 子育て支援課長 | 佐々木 雅之 | | |
| | 政策調整係長 | 大石 秀人 | 農林課長 | 我妻 修一 | | |
| | 総務課長 | 佐々木 快治 | 商工労政課長 | 仲野 裕司 | | |
| | 魅力創造課長 | 西田 昌樹 | 環境土木課参事 | 齋藤 和也 | | |
| | 健康福祉課長 | 森 真由美 | 生涯学習課長 | 江崎 健一 | | |
| | 高齢者支援課長 | 久保 禎巳 | | | | |
| 参 考 人 | | | | | | |
| 欠 席 委 員 氏 名 | 委員 | 正村紀美子 | 委員 | 木村 淳彦 | | |
| | 委員 | 常通 直人 | | | | |
| 事務局職員 | 事務局長 | 安田 敦史 | 総務係長 | 竹川 恭史 | 総務係主査 | 上田瑞紀 |
| <p>1 開 会</p> <p>中村委員長(厚生文教常任委員会)が開会を告げ、常通委員、正村委員及び木村委員から欠席の申出があった旨報告し、事務局から委員会の日程について説明をする。</p> <p>2 議 件</p> <p>(1) 調査事項</p> <p>ア 第4期十勝定住自立圏共生ビジョンについて 資料1-1、1-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長：本日の調査について、手順を説明する。資料説明は一括とし、その後、資料の区分に応じて質疑を行い、最後に全体の質疑とする。異議ないか？ ・(異議なし) ・委員長：資料の説明を求める。 ・政策推進課長：資料説明。 ・委員長：最初に資料1-1「1：定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって」、質疑はないか？ ・(質疑なし) | | | | | | |

- 委員長：次に「2：圏域の概況」について、質疑はないか？
- (質疑なし)
- 委員長：次に「3：定住自立圏の形成により目指す圏域の将来像」について、質疑はないか？
- (質疑なし)
- 委員長：次に「4：協定に基づき推進する具体的取組」の「1：生活機能の強化に係る政策分野」について、質疑はないか？
- (質疑なし)
- 委員長：次に「2：結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」について、質疑はないか？
- 立川委員：地方の町にとって公共交通機関の衰退は大きな課題であり、本町も地域公共交通政策に取り組んでいる。そこで、「観光」に関して、十勝管内のM a a s による移動について、自治体間での課題はあるか。
- 政策推進課長：今年度に関して課題は挙がっていない。住民や移住者がどのように他の町とつながっていくかという視点での議論がなされてきた。
- 立川委員：高齢化が進む中、地域住民にとって自宅から目的地までの移動手段が課題となってくる。ICTの活用により、地域間の移動の利便性が上がることが観光客の利便性にもつながると考えるが、そういった議論はなかったか。
- 政策推進課長：バス利用実態調査の結果から3期ビジョンで時刻改定などを行ってきた。4期ビジョンでは、モビリティマネジメント（過度に自動車に頼る生活から公共交通や徒歩を含めた多様な交通手段を適度に利用する生活へと転換する取組）について明記されている。
- 小笠原委員：「移住・交流の促進」について、ふるさと回帰支援センターの活用は考えているか。
- 魅力創造課長：交流・関係人口、U I J ターン等に係る政策を行うにあたり、各自治体がふるさと回帰支援センターを活用している。4期ビジョンにはないが、十勝全域として帯広市東京事務所を活用し、定住移住等の政策を行っていく。
- 委員長：他にないか？
- (質疑なし)
- 委員長：次に「3：圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野」について、質疑はないか？
- (質疑なし)
- 委員長：最後に全体を通して質疑はないか？
- 早苗委員：帯広市と十勝定住自立圏の協定を締結したことにより実現した事業はどのくらいあるのか。
- 政策推進課長：福祉分野では、地域活動支援センターの広域事業による新たなサービス提供、保育所の広域入所、図書館の広域利用など、それぞれの自治体が既に持っているものを互いに利用できるようになった。また、本構想に参加することで、特別交付税が交付され財源確保ができています。
- 早苗委員：その特別交付税により、広域での公共サービスがスムーズに受けられるこ

とになったという理解でよいか。

- ・政策推進課長：輪番制による負担金、緊急医療センター負担金、保育所の運営、地域活動支援センターの運営など、10数事業に対し約7,400万円の事業費がかかっている。対して1,600万円を上限とした特別交付税措置がされており、広域連携による事業が継続できるというメリットがあると考えている。
- ・早苗委員：町村会で取り組む車のナンバープレートについて。十勝圏に「帯広」と「十勝」2つのナンバープレートができることにより、住み分けを作らせてしまったと感じるが、共生ビジョンの懇談会等で話題となったことはあるか。
- ・政策推進課長：町村会の動きについて昨年度、今年度とも議論になったことはない。
- ・委員長：他にないか？
(質疑なし)
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」を終了する。

- ・委員長：これより自由討議を行う。意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日時について

- ・委員長：両常任委員長協議とする。

(2) その他

- ・委員長：各委員からないか？
- ・立川委員：令和2年6月の議会運営委員会において、合同委員会の運営について議論した経過がある。主たる委員会の正副委員長が合同委員会の正副を担うという取り決めとなった。本日、主たる委員会の正副が不在のため厚生文教常任委員会の委員長が合同委員会の委員長を務められたが、主たる委員会の正副委員長が不在時の合同委員会の開催の是非も含め、運営について確認する必要があるのではないか。
- ・委員長：意見として伺う。
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、合同委員会を終了する。

| | | | | | | | | |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|
| 傍聴者数 | 一般者 | 0名 | 報道関係者 | 1名 | 議員 | 0名 | 合計 | 1名 |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|

令和6年11月26日

厚生文教常任委員会委員長 中村和宏